

# JFEシビルの経営戦略

## 新中計売上高1000億円目指す

JFEシビルは2015年度から3カ年の新中期経営計画を策定し、最終年度で売上高1000億円、経常利益50億円を目指す。14年度までの前中計は、数値目標を大きく上回る見通し。強みを持つ鉄鋼土建のほか、大型物流倉庫、システム建築も好調で、マーケット内での存在感も高まっている。アイスアリーナなど特色のある施設や新商品開発でも注目を集めている。マーケット環境や中期経営計画について、藤井善英社長に聞いた。

「現状のマーケット環境については、S」

「建築は消費増税の影響もあり、住宅、マンションを中心にトータルとして足踏み状態。ただ、エリアやプロジェクトの内容によっては堅調に推移した。エリアをみるとまだら模様で、地方の需要が冷え込んでいる一方で、東京を中心とした関東地区には大きなプロジェクトがある。また、RC造（鉄筋コンクリート）



藤井 善英社長

# 特色のあるゼネコンに

東京中心に、物流施設などのS造を得意とする当社としては、恵まれた環境だった」

「2014年度では過去最高の売上高を計上、利益面でも過去最高

「建築事業は計画は155億円だったが、284億円、鉄鋼土建は160億円が200億円と大

「特色のあるゼネコン」を経営方針としている。ゼネコンは人材が「命」なので、人員体制を整える。現在の650

「大きく3つある。まずは倉庫などの免震技術を高めていく。また、B

「中計で注力する」とは。

「大きく3つある。まずは倉庫などの免震技術を高めていく。また、B

「橋梁用の制震ダンパーはNETIS（新技術情報提供システム）の認証を受けて、まずは地方の案件を中心に設計織り込みしていきたい。また、グリッドメタルは鉄筋コンクリートとの競合になるので、製造から考えてコスト競争力を高めていく。両商品とも、早期にマーケットに投入していきたい」

「現状のマーケット環境については、S」

「建築は消費増税の影響もあり、住宅、マンションを中心にトータルとして足踏み状態。ただ、エリアやプロジェクトの内容によっては堅調に推移した。エリアをみるとまだら模様で、地方の需要が冷え込んでいる一方で、東京を中心とした関東地区には大きなプロジェクトがある。また、RC造（鉄筋コンクリート）

「現状のマーケット環境については、S」

「建築は消費増税の影響もあり、住宅、マンションを中心にトータルとして足踏み状態。ただ、エリアやプロジェクトの内容によっては堅調に推移した。エリアをみるとまだら模様で、地方の需要が冷え込んでいる一方で、東京を中心とした関東地区には大きなプロジェクトがある。また、RC造（鉄筋コンクリート）

「現状のマーケット環境については、S」

「建築は消費増税の影響もあり、住宅、マンションを中心にトータルとして足踏み状態。ただ、エリアやプロジェクトの内容によっては堅調に推移した。エリアをみるとまだら模様で、地方の需要が冷え込んでいる一方で、東京を中心とした関東地区には大きなプロジェクトがある。また、RC造（鉄筋コンクリート）

「現状のマーケット環境については、S」

「建築は消費増税の影響もあり、住宅、マンションを中心にトータルとして足踏み状態。ただ、エリアやプロジェクトの内容によっては堅調に推移した。エリアをみるとまだら模様で、地方の需要が冷え込んでいる一方で、東京を中心とした関東地区には大きなプロジェクトがある。また、RC造（鉄筋コンクリート）

「現状のマーケット環境については、S」

「建築は消費増税の影響もあり、住宅、マンションを中心にトータルとして足踏み状態。ただ、エリアやプロジェクトの内容によっては堅調に推移した。エリアをみるとまだら模様で、地方の需要が冷え込んでいる一方で、東京を中心とした関東地区には大きなプロジェクトがある。また、RC造（鉄筋コンクリート）

「現状のマーケット環境については、S」

「建築は消費増税の影響もあり、住宅、マンションを中心にトータルとして足踏み状態。ただ、エリアやプロジェクトの内容によっては堅調に推移した。エリアをみるとまだら模様で、地方の需要が冷え込んでいる一方で、東京を中心とした関東地区には大きなプロジェクトがある。また、RC造（鉄筋コンクリート）

「現状のマーケット環境については、S」

「建築は消費増税の影響もあり、住宅、マンションを中心にトータルとして足踏み状態。ただ、エリアやプロジェクトの内容によっては堅調に推移した。エリアをみるとまだら模様で、地方の需要が冷え込んでいる一方で、東京を中心とした関東地区には大きなプロジェクトがある。また、RC造（鉄筋コンクリート）

「現状のマーケット環境については、S」

「建築は消費増税の影響もあり、住宅、マンションを中心にトータルとして足踏み状態。ただ、エリアやプロジェクトの内容によっては堅調に推移した。エリアをみるとまだら模様で、地方の需要が冷え込んでいる一方で、東京を中心とした関東地区には大きなプロジェクトがある。また、RC造（鉄筋コンクリート）

「現状のマーケット環境については、S」

「建築は消費増税の影響もあり、住宅、マンションを中心にトータルとして足踏み状態。ただ、エリアやプロジェクトの内容によっては堅調に推移した。エリアをみるとまだら模様で、地方の需要が冷え込んでいる一方で、東京を中心とした関東地区には大きなプロジェクトがある。また、RC造（鉄筋コンクリート）

「現状のマーケット環境については、S」

「建築は消費増税の影響もあり、住宅、マンションを中心にトータルとして足踏み状態。ただ、エリアやプロジェクトの内容によっては堅調に推移した。エリアをみるとまだら模様で、地方の需要が冷え込んでいる一方で、東京を中心とした関東地区には大きなプロジェクトがある。また、RC造（鉄筋コンクリート）

「現状のマーケット環境については、S」

「建築は消費増税の影響もあり、住宅、マンションを中心にトータルとして足踏み状態。ただ、エリアやプロジェクトの内容によっては堅調に推移した。エリアをみるとまだら模様で、地方の需要が冷え込んでいる一方で、東京を中心とした関東地区には大きなプロジェクトがある。また、RC造（鉄筋コンクリート）

「現状のマーケット環境については、S」

「建築は消費増税の影響もあり、住宅、マンションを中心にトータルとして足踏み状態。ただ、エリアやプロジェクトの内容によっては堅調に推移した。エリアをみるとまだら模様で、地方の需要が冷え込んでいる一方で、東京を中心とした関東地区には大きなプロジェクトがある。また、RC造（鉄筋コンクリート）

（山本 章央）